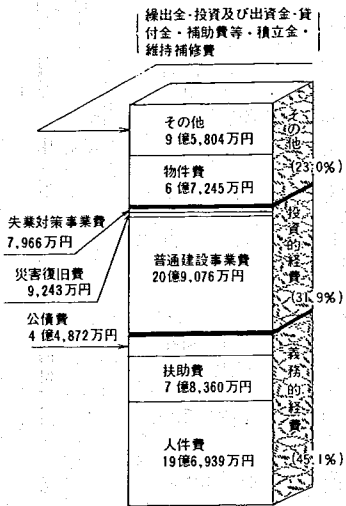


市の暮らし向上へ

性別別歳出の内訳



お知らせします—

五十三年度は「生活・産業の基盤整備を大幅に」五十三年度一般会計決算見込みの歳入は七十二億二千二百三十二万円、五十二年度決算時(歳入)に比べ一・一％ほど伸びました。この中で歳入の大きな柱である市税は一五・三％、地方交付税は一七・八％ほどの伸びを示しました。

でも深刻な不況の続く中で市政運営の「台所」も、市民のみなさんの要求を満たすため、財源確保などに厳しやりにくりを強いられています。

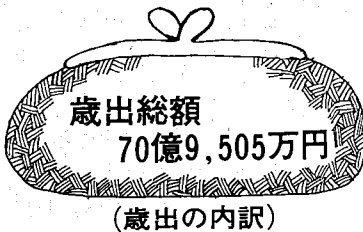
歳入の中で「市債」といわれる市の借金は五十二年度の一六・〇％から五十三年度は一・七％にさがったものの、依然市債に頼らざるを得ない状態が続いていると言えます。

こんな中で市では、五十三年度から「後期基本計画」を行政方針にするともに、経費の節約などを図りながら予算の効率化と重点的配分に配慮して市政を進めています。

特に五十三年度は市道・農道の舗装化や公園整備、農業構造改善事業、それに公共下水道などの生活、産業基盤整備を大幅に進めました。

一方、結小の増改築や金津小体育館の改築のほか、一中校舎改築も始めるなどして教育施設の充実もはかりました。

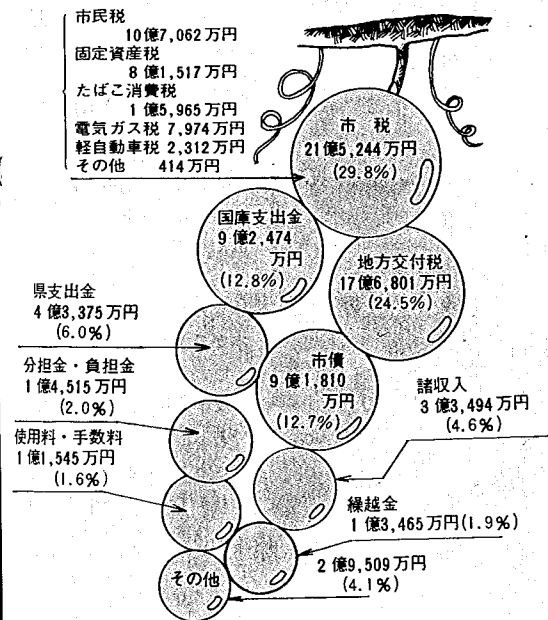
ところで性別別歳出の内訳(左のグラフ)をみると、人件費や扶助費などの義務的経費は五十二年度の四六・八％から四五・一％へ、また普通建設事業費などの投資的経費は三三・四％から三一九％へとそれぞれ前年を下回りました。



効率的支出で

53年度の決算見込み—*

歳入総額72億2,232万円 (歳入の内訳)

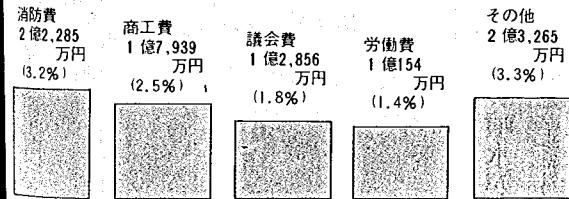


一般会計—* 9,300万円余の黒字

五十三年度は、一般会計で六十億四百万円の前算でスタートしました。その後何回かの補正を行って、左のグラフのような決算額見込みになりました。

歳入は七十二億二千二百三十二万円、歳出が七十億九千五百五十五万円、差引き一億二千七百二十七万円の黒字となりました。

しかし、年度中に消化できず、五十四年度へ繰越した事業費が三千三百八十四万円あったため、実質的な黒字は九千三百四十三万円となりました。



お買物、ご用命は市内で

創業50周年(全支店120店舗)
低金利融資 お気軽に御来店下さい
(株)毛利金融新津支店
新津市山谷町1丁目14番15号 グリーンハイツ斎藤内
☎4-4501

花椿会にお入りください。
資生堂チェーンストア
本町2丁目 **マツヤ** TEL (2)0418
第四銀行が向い。北越銀行がとなり。

お買物、ご用命は市内で

すぐ出よう!!
ベルがあなたを呼んでいる
電話のむこうはどんな顔 **新津電報電話局**